

校長室の窓から

平成27年5月

< 校訓 >

いのちを大切にしよう
きまりを守ろう
進んでことにあたらう
相手の立場に立って考えよう



学校の図書館

生徒のみなさん、武庫東中学校の図書館を利用したことがありますか？2年生、3年生は当然ありますよね。授業の時でしょうか、それとも昼休みや放課後の時間でしょうか。

本校の図書館は、本当にきれいに整理されています。学校施設の1つですので、図書館としての環境条件は、一般の図書館にはかなわないと思いますが、多くの図書ボランティアの人が武庫東中の生徒のために、色々な工夫をこらして、環境整備や蔵書管理に尽力してくれています。本もジャンル別にていねいに整理されており、大変見やすく、また、目当ての本も大変探しやすいなっています。図書ボランティアのみなさん、本当に、ありがとうございます。

これからも、よろしくお願いします。



読書と学力 (平成26年度全国学力・学習状況調査結果より)

読書習慣と学力とは大きな関わりがあると言われています。家で読書に親しんでいる人ほど、国語・数学の正答率が高いという結果がでています。特に、B問題(活用問題)においてその差が顕著に表れています。1日30分の読書が大切なようです。

ホンよりフォンが幅をきかす昨今ですが、学校の図書館や家での時間をうまく活用すれば、30分の読書はそう難しくないのでは？！

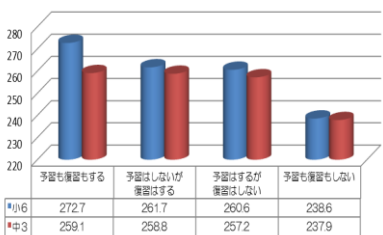
～「30分、テレビを消してみんなて読書」～どうですか。



予習・復習でこんなに違う！ (平成26年度全国学力・学習状況調査結果より)

「予習も復習もする」と答えた生徒と、「予習も復習もしない」と答えた生徒とでは、正答率合計で21.2ポイントの差があることがわかりました。(左下図参照) もちろん、予習・復習のどちらか一方だけでも、する人とならない人では正答率に差がでています。

「予習・復習」と正答率の合計 (%)



土曜チャレンジ ～5月9日スタート！～

本校の学力向上に向けた取り組みの1つである土曜チャレンジ(通称:土チャレ)がスタートします。数学・英語を中心に年間30回の予定ですが教職経験者や大学生による自主学習支援を行い家庭学習の習慣につなげようとするものです。また、今年度より、1学期から火曜日チャレンジアフターが始まります。

3年生対象で5月26日スタート予定です。

少し元気をもらいました ～「おはようございます。」～

朝、校門付近にいと、背中の方から「おはようございます。」と気持ちのいいあいさつが聞こえます。こちらが気づいていないのに、自分からあいさつしてくれる生徒がいます。

実は、「おはようございます。」といっても、あいさつが返ってこないことも少なくなく、「武庫東の子はこれでいいのだろうか?」と落ち込んでいました。コミュニケーションの始まりはあいさつからです。毎朝、「気持ちのいいあいさつ」を交わしたいものです。背中の方から聞こえるあいさつで、少し元気をもらいました。そして、毎朝、あいさつ運動にご協力いただいている育友会のみなさん、ありがとうございます。これからも、あいさつによる元気のエール交換をよろしく願いいたします。



おめでとうございます

市民スポーツ祭

- ◆男子剣道部(団体:準優勝)
個人:準優勝 飛田直大
- ◆男子卓球部(団体:第3位)
個人:準優勝 新居拓人
- ◆女子卓球部(団体:準優勝)
- ◆男子ソフトテニス部(団体:優勝)
個人:優勝 下原涼太・清水 佑
準優勝 森實俊介・稲原理樹
- ◆女子ソフトテニス部(団体:第3位)
個人:準優勝 安部百華・中谷澄世
第3位 鎌田莉央・沖村 樹
- ◆陸上競技部
800m第2位 草置真優 2分34秒50
砲丸投第2位 八木佑芽奈 9m48
円盤投第3位 八木佑芽奈 20m21
(5月7日までの結果)

甲子園への遺言～伝説のコーチ高島導宏の生涯より～

■理解とは、新しい情報を古い知識に関連づけて受け入れること。足し算を知らないと引き算はできない■一度覚えたことを忘れないようにするには、理解をともなわない短期記憶はたちまち忘れてしまう。理解し記憶したつもりの中間記憶も又失われてしまう。長期記憶として定着させるための方法論は反復すること、たった1つの方法は反復■時間の経過と忘却率の関係、記憶の保持率は時間幅と対数曲線を描いて低くなる。記憶して9時間までの間に保持率は急激に低下する。覚えたつもりの中間記憶がどんどん消えていく。従ってこの中間記憶が残っている間に反復学習すると記憶の保持率が飛躍的に高まることがわかっている→しつこく復習する■人に話す人に教えることは記憶を強化する次のメリットがある。記憶の強化、思い出すことで記憶が整理され自分の言葉が聴覚を刺激する・・・略・・・<高島の勉強ノート>

『才能とは逃げださないこと』『平凡も繰り返しが非凡となる』
—講談社文庫 門田隆将—

創立40周年 ～4月22日～

4月22日、本校は40回目の創立記念日を迎えました。集会を開き、創設から30周年頃までを中心に学校の移り変わりについてお話をしましたが、本校は武庫地区の生徒数の増加に伴い、武庫中学校から分離独立して昭和51年4月に尼崎市20番目の中学校として開校しました。開校当初より、「命を大切にすることを中心にして教育活動に

取り組み、これまでに、10,046人もの卒業生を送り出してきました。
～ 尼崎市はH28に市制100周年を迎えます ～ 知れば知るほど“あまがすき”